

歩いて楽しいみちづくり鎌ヶ谷

Aruite Tanoshii Michi dukuri

2010年4月10日
Vol. 41

ATM通信

◎こんにちは。ATM通信班です。今回も「歩いて楽しいみちづくり」をテーマに、様々な情報をお届けします。

ATM鎌ヶ谷が考える「みち並み保存」の大方針は
次の5つです。

**清潔なみち 美しいみち 安全なみち
賑わうみち 理解ある市民**

【発行者】ATM鎌ヶ谷ワークショップ ATM通信編集班 【お問い合わせ受付担当】鎌ヶ谷市 都市建設部 都市整備課まちづくり室
【電話】047-445-1141 【住所】鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1 【e-mail】atm-kamagaya@city.kamagaya.chiba.jp

ATM鎌ヶ谷

検索

※鎌ヶ谷市公式ウェブサイトにてATM鎌ヶ谷のコーナーがあります。鎌ヶ谷のヶは大文字でね！

ATM鎌ヶ谷

みち並み保存

活動の1年を振り返って…

平成22年2月20日(土)に、道野辺中央コミュニティセンターにて第43回ATM鎌ヶ谷ワークショップが開催されました。

■整備関連報告

はじめに、市より来年度の整備関連の予定について説明がありました。①花のみちとなかよし通りの道路整備、②30号線の地中化に關しての道路詳細設計、③ワークショップ運営委託、以上の3項目について予算要求をしているので、3月議会で承認されるとの3つの事業を来年度実施することとなります。

■2つのシンボルポイント

ATM鎌ヶ谷では、エリア内にある道端のスペースをシンボルポイントとし計画をしてきました。2つあるシンボルポイントは、平成17年の整備構想の中で初期の計画がなされておりますが、整備計画が進んできている中で、現況に合わせてプランの見直しを行いました。

①ポケットパークについて

ポケットパークについては、照明、花壇の色、シンボルツリーについて意見を出し合いました。いずれも安全や景観のため、また環境も配慮したものを選んでいこうと思います。

②なかよし通りの桜の木について

なかよし通りにあった桜の木は、老朽化のため伐採されました。この土地は市有地のため、今後どのように活用していくかをワークショップでは引き続き考えていきます。

春に行われたとっこめ桜まつりにて『ATM鎌ヶ谷認知度アンケート』の実施→

トライ&エラーで『違法駐輪対策』もしました。→

駅前夏祭りにて行った『いまむかし展示会』↓



ATM鎌ヶ谷の活動を写真集で振り返ります。



ATM鎌ヶ谷の活動を紹介する『情報看板の設置』→



↑『先進事例視察会』で訪れた季房会のガイドを受けて…

■ATM鎌ヶ谷エリア

現状の景観

地域の生活の営みが街の景観をつくりま
す。日常生活から写し取られた写真を見
て、考え、話し合う契機になるのではな
いかと考えます。

今回は、ATMワークショップでも度々
話題に上がる、ゴミステーションと、電線が
張り巡らされた景色です。



★下総台
地にある
鎌ヶ谷。
縄文人が
残した貝
塚が多い
台地です。
人の営み
の痕跡は、
観察の対
象になっ
ています。廃
棄される

ものが大量な現代の生活は未来にどう
評価されるでしょうか。(M・K)

★ゴミ置き場も美しくなるようにみに
なで考えていきたいですね。(H・K)

★集合住宅の方たちの為のゴミステーション(私有地)だと思えます。そのため、大きく、しっかりと確保できているのでしよう。たいていは、公道上にステーションを設けているのでゴミが網からはみ出したりして、カラスが来たりします。このように設置できる場所があるといいですね。(T・M)

★日本の光景の代表である。蜘蛛の巣の様であり、すつきりしたいもんだ。無電柱化すると、美しい街並になるだろうな。
ふと想うATM!

じつと手を見る予算かな!!(T・I)



★ふだんあまり気にしてはいないが、頭上にはたくさん電線が張られている。大災害でも起きて線がズタズ

タに切れたらいったいどうなるのだろうと思うとゾツとしなくてもない。この電線が無かつたら、よっぽどすつきりするだろう。(Y・N)

★道から道へ電線が張りめぐり、情報化が進むほど電線の数が多くなり、空が見えにくく街の景観が悪化しています。これからのまちづくりを計画・実施する時には、市街地や商店街など無電柱化を進めることにより、歩行幅も広がり安全が確保されて広い空間ができ、美しい街並みになるでしょう。(T・T)

ATM鎌ヶ谷エリアの現状の景観について、今回掲載させていただきましたが、読者のみなさんは、写真を見てどのような感想をお持ちになりますか?

■鎌ヶ谷西口駅前 いまむかし



■投稿募集

押し入れにしまっておる

昔の写真を募集中!

今回の写真は、狭くて行き止まりだった路地が4メートル幅の直線道路になった場所です。この道路は、ペアロードとバス通りの間を貫通する予定です。このように、電柱やブロック塀で車がやっと通り抜けていた私道が市道になり、面目一新の快適な新しい景観に生まれ変わります。

60年前のことですが、ペアロードから細々と通じるみちの程から南の方を望めば、足元から広がる畑や森のほかにはさえぎるものがほとんど無い、彼方に田の無線塔がいくつか高々とそびえ立っていたのが当時の景色です。

何十年の間、利用する人たちにとっては悩みであった狭い道路の問題が、今回必要な用地の全部を土地所有者のみなさんが自主的に提供することで一挙に解決することになりました。道路は現在、下水道工事などが進行中です。(M・K)

みなさんのご家庭にも懐かしい風景が残っておりましたら、是非投稿ください。その他ATM通信に関する、ご意見・ご感想もお待ちしております。

■編集後記

まちの賑わいについて、「心地よい景観があれば、人々はだんだん寄ってくる」とか、「歴史的建造物や誇る名所がなくてもよい。安心して暮らせる、歩いてストレスを感じない安心な道路があればこれだけでよい」などの意見に接すると、なるほどという合点をしてしまいます。(編集長)

